



今年台風が何個も発生し、しかも変な方向からやってきますね。吉野川の沖積平野に広がる徳島市は浸水や洪水の被害に遭う可能性が常にあります。建物2階以上に逃げる「垂直避難」だけでなく、別の場所にあらかじめ移動しておく「水平避難」も必要に応じて行わないといけないのかなと思います。

平成30年大規模地震時医療活動訓練に当院も参加しました

政府は南海トラフ巨大地震を想定した「大規模地震時医療活動訓練」を毎年開催しています。今年四国九州 5 県が会場となり開催され、当院も被災地内の病院として「籠城する病院」の設定で参加しました。当日は災害対策委員メンバーら 27 名が参加しましたので報告します。

日時：平成 30 年 8 月 4 日(土) 午前 10 時から 17 時
場所：当院 5 階デイルーム、2 階研修ホール、他

訓練では、院内放送での緊急地震速報を合図に、シェイクアウトのポーズで開始となりました。すぐさま 5 階デイルームに災対委員が参集し、本部を立ち上げ、情報収集にあたります。電気、ガス、水道といったライフ

ラインや、建物の被害状況、さらには職員患者家族らの人的被害がまとめられ、11 時すぎに本部長(院長)より「籠城宣言」が出されました。

午後は会場を 2 階研修

ホールに移し、全国からやってきた DMAT4 チーム(東京労災病院、奈良県済生会中和病院、兵庫県立柏原病院、和歌山県国保日高総合病院)の受け入れを行いつつ、

2 チームに分かれて、物資補給訓練、簡易トイレ設置訓練、手術中患者の避難訓練などを行いました。また合わせて、2 階の院内保育所の児童 23 名を 5 階まで避難さ



せる訓練も行われました。物資補給訓練では、実際に酸素ボンベや燃料の備蓄庫を見学し、停電時の対応なども学びました。

籠城では、備蓄してある物資に加え、様々な補給を受けながら、患者とともに病院で生き延びていかなければなりません。このようなことは平時にはなかなか体験できず、訓練に参加することでしか経験できません。今後も定期的に訓練を行いながら、誰もが対応できるよう取り組んでいけたらと思っています。



平成30年度大規模地震時医療活動訓練
DMAT陸路参集案(2018/07/23)

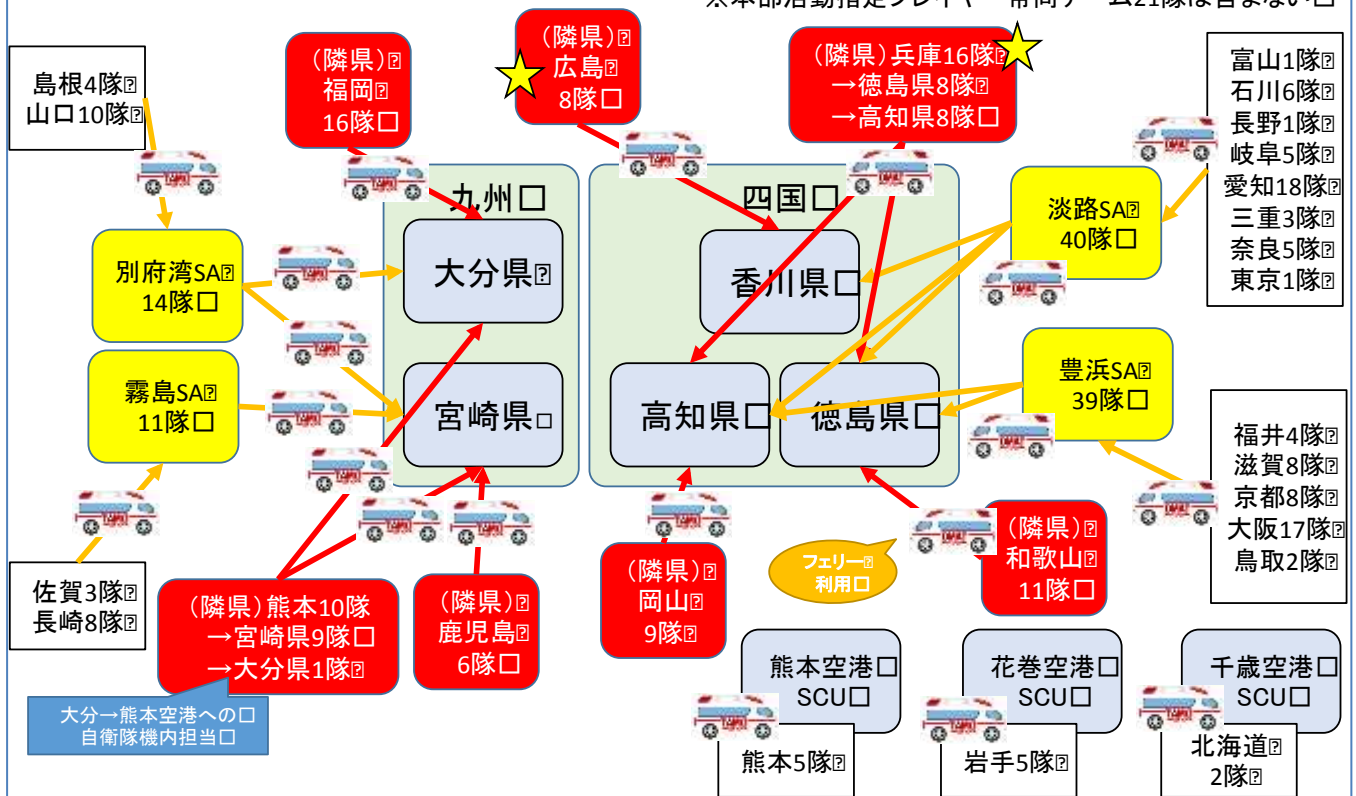


★愛媛県内及び艦船訓練
中止に伴う参集場所変更

被災地外から354隊のうち陸路参集192隊

- ・九州内被災地への陸路参集57隊
- ・四国内被災地への陸路参集123隊
- ・被災地外SCUへの陸路参集12隊

※本部活動指定プレイヤー帯同チーム21隊は含まない



今後の訓練予定

県や国では定期的に訓練を計画してくれています。災害に対する備えは日常診療の中ではなかなか行うことができません。当院 DMAT も機会をみつけて参加していきますので、ご理解ご協力御願ひ申し上げます。

9月1日(土) 徳島県総合防災訓練(美馬市西部健康防災公園)

救護所運営、ヘリによるDMATの投入、本部運営などが行われます。

10月14日(日) 政府艦船訓練(内閣府、自衛隊主催)

和歌山県沖で自衛隊護衛艦内での医療活動を行う実証訓練が行われます。